２０２４環境経営レポート

実施期間：2024.01～2024.12

日 本 バルブコントロールズ株 式 会 社

発行　2025 年 3 月 1 日

目　次

１．　環境方針　１

２．　会社概要

（１）　事業所　----------　２

（２）　事業活動の内容　----------　２

（３）　事業規模　----------　２

（４）　沿革　----------　２

（５）　組織図　----------　３

（６）　連絡先　----------　３

３．　環境経営目標　４

４．　環境経営活動・取組内容と計画　５

５．　環境経営目標の実績と評価　６

６．　環境経営活動・取組内容の結果と評価及び次年度の計画　７

７．　環境関連法規の遵守と環境問題訴訟の有無　８

８．　代表者による全体の評価と見直し・指示　９

環境理念

当社は、地球環境を守る事を最優先課題の一つとし、環境保全に適した弁・自動弁・制御機器の開発と生産に努め、製品販売する事で環境負荷の低減活動に全員で取り組みます。

環境方針

（1）環境に配慮した製品の提供に努めます。

製品の長寿命化や、省資源、省エネルギー設計や、有害化学物質の排除、削減に取り組みます。

（2）関係する環境法規とその他の要求事項を遵守します。

環境関連の法律、規則、協定等を遵守し、環境管理システムを継続的に改善し推進します。

（3）環境に配慮した企業活動に努めます。

工場・事務所及び生産工程のムダをなくし、省エネと資源の有効活用を推進します。

当社はグリーン調達に取り組みます。

（4）環境意識の向上

全社員の環境意識の向上を図ると共に、ひとりひとりが、環境保全活動を出来る様、啓発を行います。

（5）地域社会への貢献

地域社会の環境保全活動の参画、支援に積極的に取り組みます。

この方針は全従業員に周知し、社外へも公表します。

制定　2008 年 6 月 2 日

日本バルブコントロールズ株式会社

代表取締役　　増田一成

2. 会社概要

弊社は 1981 年の発足以来、自動弁の専門メーカーとして、配管システムの自動化に取り組んでまいりました。

低価格で高品質の自動弁のニーズが高まる中、いち早く自動弁の開発とそのコストダウンを進め、今日では数多くの実績と各方面のご愛顧を頂いております。

対象範囲(認証・登録範囲)	全組織・全活動
基準	エコアクション21ガイドライン 2017 年版

（1） 事業所

事業所名	日本バルブコントロールズ株式会社 本社・事業本部
所在地	名古屋市中村区名駅南1－21－19 名駅サウスサイドスクエア 10F
事業所名	日本バルブコントロールズ株式会社 瑞浪工場
所在地	岐阜県瑞浪市山田町2001番地
事業所名	日本バルブコントロールズ株式会社 稲沢工場
所在地	愛知県稲沢市日下部北町 3 丁目 57 番

（2） 事業活動の内容

弁、自動弁、制御機器の製造と販売

（3） 事業規模

売上高		2，805	百万円	前年比 － 8.7%	（本社・事業本部/瑞浪工場）
従業員数		60	名	2024.12.31 時点	
延べ床面積	本社・事業本部	638	㎡		
	瑞浪工場	7，846	㎡		
	稲沢工場	723	㎡		

（4） 沿革

1981 年	10 月	日本興産(現 株式会社ヴァルテック)から分離発足 コントロールバルブの販売を開始
1997 年	4 月	本社を愛知県稲沢市へ移転
2005 年	8 月	瑞浪工場（岐阜県）開設
2008 年	4 月	事業本部を現住所に移転
2009 年	6 月	試験棟を瑞浪工場敷地内に建設
2009 年	8 月	エコアクション21認証登録
2010 年	1 月	中国上海市に販売拠点 Vpro Trading (Shanghai) Corp.を開設
2011 年	10 月	瑞浪第2工場増設

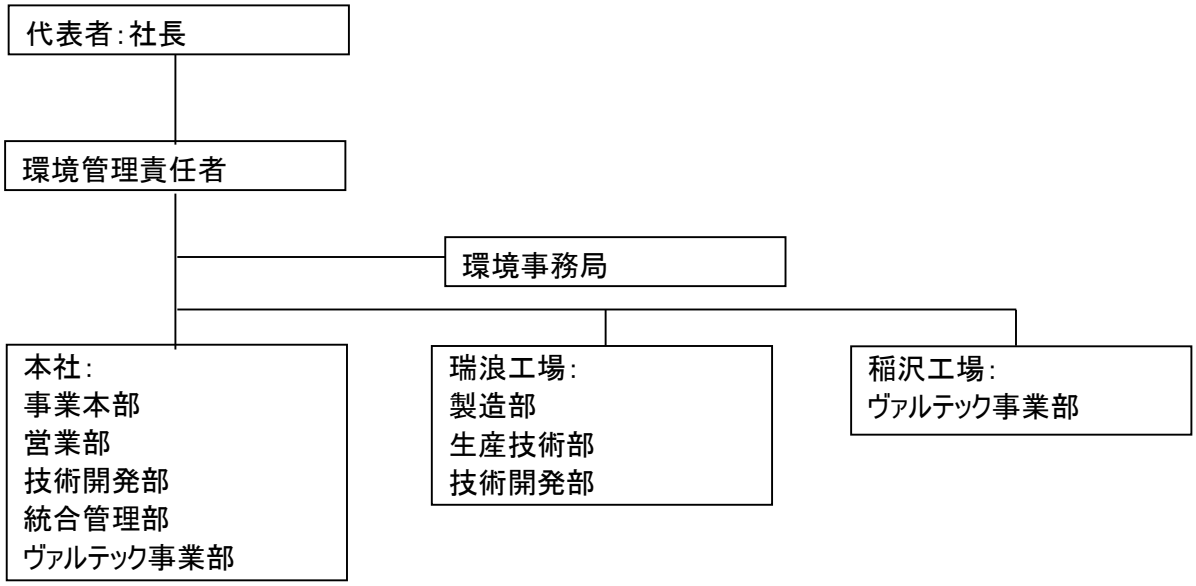
2016 年　4 月　シンガポールに販売拠点 Vpro Control Pte. Ltd を開設

2017 年　3 月　瑞浪第3工場増設　試験棟を第3工場内に移設

4 月　瑞浪工場内にテクニカルセンターを開設

2024 年　9 月　（株）ヴァルテックと合併

（5）　組織図



組織	役割・責任・権限
代表者	・環境方針の策定 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営システムに必要な資源の用意 ・代表者による全体の評価と見直し ・環境活動レポートの承認 ・環境目標・環境活動計画の承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築・実施・管理 ・環境活動レポートの確認 ・環境目標・環境活動計画の確認
環境事務局	・全体計画の立案 ・環境活動の実績集計 ・環境目標・環境活動計画の原案作成 ・環境関連法規等の取りまとめ・遵守と評価 ・環境関連の外部コミュニケーション窓口 ・環境活動レポートの作成・公開
各部門代表者	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する環境活動の教育 ・自部門における環境目標・環境活動計画の立案 ・自部門の環境活動における問題点の発見・改善の実施
全従業員	・環境方針の理解と遵守 ・環境活動への積極的参加

（6）　連絡先

TEL：052-582-6435（代）　FAX：052-582-6439
E-mail：k-system@valco.co.jp

3.　環境経営目標　　年度:1 月～12 月

2021 年度の実績を基準年度として下記6項目の環境目標を設定し、削減に取り組みます。

目標値の設定に関しましては、売上高の増加に伴い使用するエネルギーも増加する為、売上高の増減比率を反映させた数値を設定いたします。基準年度（2021 年度）の売上高は 2,527 百万円です。

① 購入電力の削減と社用車で消費されるガソリンを対象に、CO_2 排出量の削減に取り組みます（※1）。

② エコロジー、エコノミーの両立をめざし、排出する廃棄物の分別細分化により有価リサイクルを行い、最終処分廃棄物の削減に取り組みます。また、分別状態が不十分になると廃棄物のリサイクル率（※2）を維持することが出来なくなる為、95%以上をリサイクルできるように取り組みます。

③ 生産活動により消費される水使用量の削減に取り組みます。

④ 製品に含まれる環境負荷規制物質の削減に取り組みます（※3）。
新たに採用する資材には、より環境負荷物質の少ない物を採用、梱包資材には有害化学物質を低減し、リサイクルやリユースのし易い物を採用します（※4）。

⑤ 製品梱包時に使用する梱包資材の削減に取り組みます。

⑥ 社内文書で利用するコピー用紙使用量の削減に取り組みます。

⑦ 環境負荷への配慮を行った製品の選定や、設計、及び生産システムの構築に取り組みます。（※5）

目標項目		基準	短・中期目標			
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		削減率	−1%	−2%	−3%	−4%
① CO2排出量の削減	総量（kg−CO2）	128,038	126,758	125,477	124,197	122,916
	売上原単位(/百万円)	50.7	50.2	49.7	49.2	48.7
購入電力使用量の削減（kWh）	本社	88,669	87,782	86,896	86,009	85,122
	瑞浪工場	171,897	170,178	168,459	166,740	165,021
	全社	260,566	257,960	255,355	252,749	250,143
ガソリン使用量の削減(L)		1,824	1,806	1,788	1,769	1,751
②廃棄物の削減とリサイクル率						
一般廃棄物	排出量(kg)	9,233	9,141	9,048	8,956	8,864
	リサイクル率(%)	95%	95%以上			
産業廃棄物	排出量(kg)	5,016	4,966	4,916	4,866	4,815
	リサイクル率(%)	95%	95%以上			
③水使用量の削減		469	464	460	455	450
④環境負荷規制物質の削減(Kg)		各種・各国の規制基準の順守（例、欧州RoHS）				
その他の取り組み						
⑤梱包資材の削減	総量(Kg)	22,871	22,642	22,414	22,185	21,956
	売上原単位(/百万円)	9.1	9.0	8.9	8.8	8.7
⑥コピー用紙の使用量削減(Kg)		664	657	651	644	637
⑦環境負荷への配慮を行った生産活動		日常業務内で実施				

※1：CO_2 の算定には 2017 年度中部電力の実績に基づく調整係数 0.472（kg−CO_2/kWh）を使用。

※2：リサイクル率は、一般廃棄物・産業廃棄物中に含まれる再資源化の割合で算出いたします。
※3：今年度の化学物質（PRTR 対象物質）の使用はありません。
※4：調達資材に含まれる環境負荷の大きな化学物質を削減し、環境負荷のより少ない物を採用する取組を継続します。
※5：環境負荷を配慮した製品の選定・設計、及び生産システムの構築は、日々の生産活動における企業理念等を含むため、具体的な数値の設定はしていません。

4.　環境経営活動・取組内容と計画

環境経営活動・取組内容	担当部署	計画
① CO2 排出量の削減		年度初めに、数値目標と取組項目を確認。 実績値は毎月確認、 前年同月との比較を実施。 6 か月ごとに取組実績を確認し、必要があれば対応する。
購入電力使用量の削減(kWh)		
・無人箇所の照明・空調の OFF	本社・事業本部 瑞浪工場 稲沢工場	
・不要な照明の間引き・空調の OFF		
・空調音頭の管理（暖房 20 度、冷房 28 度）		
ガソリン使用量の削減(L)		
・社用車の使用を控え、公共交通機関の利用	本社・事業本部 瑞浪工場 稲沢工場	
・エコ運転の注意喚起（社用車への'エコ運転のお願い'ラベルの貼付）		
②廃棄物の削減とリサイクル率		
・廃棄物の分別の実施（リサイクル可能な産業廃棄物・紙ごみ）	本社・事業本部 瑞浪工場 稲沢工場	
・印刷時、裏紙の利用		
③水使用量の削減		
・水道管からの漏洩の定期確認	瑞浪工場 稲沢工場	
④環境負荷規制物質の削減(Kg)		
・製品に含まれる規制物質の調査	本社・事業本部	
その他の取り組み		
⑤梱包資材の削減		
・製品に対する適切な梱包資材の利用	瑞浪工場 稲沢工場	
⑥コピー用紙の使用量削減(Kg)		
・電子書類化ソフトの利用推進	本社・事業本部 瑞浪工場 稲沢工場	

⑦環境負荷への配慮を行った生産活動		
・リサイクル、リユースしやすい緩衝材の採用	瑞浪工場 稲沢工場	
・環境負荷へ配慮した製品設計、及び、生産システムの構築	本社・事業本部 瑞浪工場 稲沢工場	

5. 環境経営目標の数値実績と評価　年度:1 月～12 月

目標項目		基準 2021 年度 削減率	目標 2024 年度 −3%	実績	目標達成率	評価
① CO2 排出量の削減	総量(kg−CO2)	128,038	124,197	128,015	＋3.1%	×
	売上原単位(/百万円)	50.7	49.1	45.6	＋7.1%	○
購入電力使用量の削減(kWh)	本社	88,669	86,009	85,762	＋0.3%	○
	瑞浪工場	171,897	166,740	175,493	−5.2%	×
	稲沢	−	−	−	−	−
	全社	260,566	252,749	261,255	−3.4%	×
ガソリン使用量の削減(L)		1,824	1,769	1,816	−2.7%	×
②廃棄物の削減とリサイクル率						
一般廃棄物	排出量(kg)	9,233	8,965	11,025	−23.0%	×
	リサイクル率(%)	95%	95%以上	96.8%	−	○
産業廃棄物	排出量(kg)	5,016	4,866	1,407	＋71.1%	○
	リサイクル率(%)	95%	95%以上	98.0%	−	○
③水使用量の削減		469	455	506	−11.2%	×
④環境負荷規制物質の削減(Kg)		各種・各国の規制基準の順守				○
その他の取り組み						
⑤梱包資材の削減	総量(kg)	22,871	22,185	24,466	10.3%	×
	売上原単位(/百万円)	9.1	8.8	8.7	−	○
⑥コピー用紙の使用量削減(kg)		664	644	560	−13.0%	○
⑦環境負荷への配慮を行った事業活動		日常業務内で実施				○

【評価】

①CO2 排出量の削減：

夏季は例年と比べて猛暑日が多く、エアコンの稼働率を高めたことで電力使用量やガソリンの使用料が増加したと判断しております。総量としては、年度目標を達成できませんでしたが、売上高比率における削減率は、年度目標を 7.1%削減することが出来ております。

②廃棄物の削減とリサイクル率：

年度目標設定時から売上高が増加したことに伴い、納品物の梱包用段ボールなどの仕入量が増加し、一般廃棄物の排出量が増加したため、目標を達成することができませんでした。リサイクル率については、分別を徹底することで目標を上回る数値を達成しています。

③水使用量の削減：

電力使用量と同じく、夏季の猛暑により検査用水の利用増加や、社員用給水の増加により、水使用量が増加したと判断しております。

⑤梱包資材の削減：

出荷量増加により、梱包資材の使用量が増加したためと判断しております。

⑦環境負荷への配慮を行った事業活動：

・瑞浪工場の生産活動効率化を図るため、モバイル端末での弊社独自アプリによる生産性向上や作業補助用の治具作成を行っております。

・見積選定時に標準よりも低いトルクでの設置が可能な場合などは、お客様に対して省エネを考慮した製品を提案しております。

・梱包用緩衝材として生分解性の袋詰めパック緩衝材や、段ボールを採用しております。

6. 環境経営活動・取組内容の結果と評価、及び次年度の計画

環境経営活動・取組内容	評価	コメント	次年度計画
① CO2 排出量の削減		取り組みは実施できていますが、瑞浪工場では 3 月の気温低下および 10 月の気温上昇の影響で、空調電力が増加しました。	引き続き今年度と同様の取り組みを徹底充実させ、照明については、消費電力の少ない LED 照明の切り替えを検討していきます。
購入電力使用量の削減(kWh)			
・無人箇所の照明・空調の OFF	○		
・不要な照明の間引き・空調の OFF	○		
・空調温度の管理（暖房 20 度、冷房 28 度）	○		
ガソリン使用量の削減(L)			
・社用車の使用を控え、公共交通機関の利用	○		
・エコ運転の注意喚起（社用車への'エコ運転のお願い'ラベルの貼付）	○		
②廃棄物の削減とリサイクル率		取り組みは確実に実施できています。	リサイクル物が区別できるよう、社員教育を行います。
・廃棄物の分別の実施（リサイクル可能な産業廃棄物・紙ごみ）	○		
・印刷時、裏紙の利用	○		
③水使用量の削減		異常の発生はありませんでした。	雨水利用設備の設置を検討しています。
・水道管からの漏洩の定期確認	○		

④環境負荷規制物質の削減(Kg)		追加された規制物質の含有調査を進めています。	調達品の調査を更に推進します。
・製品に含まれる規制物質の調査	○		
その他の取り組み		取り組みは、確実に実施できています。また、生産システムにおいては、ピッキングカートの効率化を行い、省エネ化に寄与しています。	引き続き今年度と同様の取り組みを徹底充実させ、継続していきます。
⑤梱包資材の削減			
・製品に対する適切な梱包資材の利用	○		
⑥コピー用紙の使用量削減(Kg)			
・電子書類化ソフトの利用推進	○		
⑦環境負荷への配慮を行った事業活動			
・リサイクル、リユースしやすい緩衝材の採用	○		
・環境負荷へ配慮した製品設計、及び、生産システムの構築 ・お客様に対して、省エネを考慮した商品仕様の提案	○		

7. 環境関連法規の遵守と環境問題訴訟の有無

法規遵守状況の評価

環境関連法令は「法的要求事項一覧表」に適用する法令等として取りまとめ、遵守状況を確認しました。

確認日
2025 年 1 月 31 日

法規制等の名称	適用範囲	遵守事項	遵守確認
廃棄物処理法	一般廃棄物	許可確認	遵守
	産業廃棄物	委託基準 ・許可証の確認(収集運搬及び処分) ・委託契約書 マニフェストの交付及び管理 ・処理場の現地確認 ・処分状況の確認	
瑞浪市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物 条例第 35 号第 5 条 1 項	廃棄物処理承認書の申請	遵守
	産業廃棄物 条例第 35 号第 7 条 1 項		
家電リサイクル法	特定家電品廃棄物	・販売店にリサイクル料金の支払い ・特定家庭用機器廃棄物管理票	遵守
自動車 NOx PM 法	自動車の使用	・自動車からの排ガス抑制の努力 ・燃料使用量の把握	遵守

下水道法	一般排水・洗浄水の排出	・特定事業場に該当しない	遵守
フロン排出抑制法	業務用冷凍機器	・四半期に 1 回以上の簡易点検を行う	遵守
欧州 RoHS 指令	製品への規制物質管理	・規制物質の排除又は削減管理	遵守
欧州 RoHS2 指令	製品への規制物質管理	・規制物質の排除又は削減管理	遵守
工場立地法	工業団地準則 5 条、6 条	・工場集合地内緑地面積の算入特例適用	遵守
取引先様からのグリーン調達ガイドライン他	顧客からの要求	・CO2 の削減、資源の有効利用 ・車両運搬時の漏洩防止 ・有害化学物質の使用禁止 ・環境関連法規の順守	遵守

過去3年間環境問題に関する違反、苦情、訴訟等の指摘は1件もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価

二酸化炭素排出量の削減やガソリン使用量の削減については適切に取組が行われています。

電力使用量や梱包資材に関しては使用量が増加いたしましたが、売上高比率では削減傾向にあります。

環境経営活動および取り組みを確実に実施し、更に削減できるよう努めてください。

環境マネジメントシステムの状況は、概ね問題無く機能していると評価しています。

評価・見直し実施 ： 2025 年 2 月 28 日 代表取締役 社長 増田 一成

環境経営方針

☑変更なし ☐変更あり

環境経営目標・計画

☑変更なし ☐変更あり

実施体制

☐変更なし ☑変更あり

実施体制について、

２０２４年９月より株式会社 ヴァルテックと合併し、組織体制を変更いたしました。

２０２５年度からは新たな目標を設定し、環境管理活動を実施してまいります。

次回、「２０２５環境経営レポート」発行は、２０２６年３月頃を予定